

## 公益社団法人薬剤師認定制度認証機構 **G04**

### 発足15周年に寄せて

#### ～慶應義塾大学薬学部の薬剤師生涯学習の歩みの記録と共に～

慶應義塾大学薬学部認定薬剤師研修制度委員会  
委員 藤本和子

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の発足15周年、おめでとうございます。15年経過して多くの認証機関が認証され、時代の変化と共に増々の発展もされて行くことと思います。

本学の薬剤師生涯教育は共立薬科大学から始まる卒後教育を引き継いでおります。当時「社会人再教育への寄与」を実践するシステムとして昭和43年(1968)「共立薬科大学同窓会卒後研修会」が発足され、平成5年(1993)「卒後薬剤師教育通信講座」(国内初)を開講。共立薬科大学卒後研修会を経て、1998年に薬剤師を中心に生涯学習をサポートしていく中核機関として「共立薬科大学生涯学習センター」が設けられました。通信講座のスクーリングでは、すでにSGDを行うグループ学習を行っていました。日本薬剤師研修センターの1994年4月からの認定薬剤師制度に、当時の大学理事らが研修センターの発起人や理事長でもあったためでもあり、いち早く薬剤師認定制度を取入れ、公開講座や通信講座に単位の付与を行っていました。

2005年に学部内に専任教員を置いた「生涯学習センター」が設置され、通信講座6コース(36科目)、公開講座は年間約22回に、また健康食品資格のNR養成講座(40単位)を開講していました。2005年度のデータでは年間通信講座の受講者700名、公開講座受講者は単年でのべ4000名に達しておりました。この時期は薬剤師養成のための薬学教育が4年制から6年制に改革さ

れることになり、既卒4年制薬剤師が6年制卒との穴埋めをするように、多くの薬剤師が生涯学習で学ばれていました。このころ、公益社団法人薬剤師認定制度認証機構が発足され、認証を受けるよう準備を始め、2006年8月25日に薬剤師の卒後研修を認定するプロバイダーとして認証G04を受けました。

認証機構で認証されたプロバイダーの初めての会合のG01～G06、P01の小さな会が、内山先生の強い推進力で、現在の「認定薬剤師認証機関協議会」の名称検討から、規約や運営方法などを策定していく、認定薬剤師活用の黎明期に関われた貴重な経験ができました。

2008年、共立薬科大学は慶應義塾大学と合併し、慶應義塾大学薬学部となりました。通信講座を「薬剤師継続学習通信講座」として臨床各科を基礎から実臨床まで網羅したカリキュラムへと大改革を行いました。医学部の協力の元、現場の医師の執筆によるテキストを作成し、学部の教科書にまでなった症候学テキストや免疫などの基礎分野から、当時の学部カリキュラムでは触れないヘルスケアや老年薬学などのテキストを段階的に37科目作成しました。通信講座も時代に即しウェブ講座も開講しました。

2015年に、学部内の改組のため生涯学習の企画立案は委員会が担い、当日の進行・会場運営は医療薬学・社会連携センターと事務部署が担うことになりました。通信講座は受講者数もピーク時に比べて落ち着き、一定の役割を終えたため2017年閉講し、年間の公開講座は15回とスマートにしました。コンテンツも時代のニーズに即した講座の他、がんプロフェッショナル養成講座や指導薬剤のためのワークショップ、スポーツファーマシスト対象のワークショップなどグループワーク形式の継続的な講座も増やしました。

生涯学習52年間の歴史を踏まえつつ、今後も時代に即し、さらに一歩先を行く薬剤師生涯学習を目指していく所存であります。

